GAKUKAKU 館刊楽楽 4号

沼田高校
図書館だより
2020年10月

吾妻中央　尾瀬　渋工　渋川青翠　渋女　嬬恋　利根実　利根商　長野原　沼女　沼高

北毛の図書委員の作品が集う

本年度の北毛地区図書委員研修会のテーマは『短編創作』
研修タイトルは、『秋の創作まつり２０２０』
各校２作品の応募があり、全２２作品が集まりました。
去る１０月１６日（金）、沼高図書委員１・２年生による第１次審査を実施。
腕時計内部よりも精密な図書委員の審査をくぐり抜けたのは１０作品。
ここでは、トップ３（※第１次審査終了時）のみを掲載！

『暴食ポムポムプリン』
　僕と犬が歩いていると猿が現れた。猿の要求に応えると猿は僕たちの仲間になった。僕らが進んでいると、物陰に黒い影…だれだ！
「僕にもその腰についてるのちょうだい」
一瞬だった。彼がそう言い終えた時、既に腰の獲物は無くなっていた。奴が喰ったのだ。
と、気付いた時には次の獲物は僕たちだった。

『コンティニュー』
　僕と犬が歩いていると猿が現れた。猿の要求に応えると猿は僕たちの仲間になった。僕らが進んでいると、物陰に黒い影…だれだ！
　人かと思ったその黒い影は車だった…。僕は車にぶつかり、意識を手放しながら思った。
「また雉を仲間に出来なかった…」
　僕と犬が歩いていると猿が現れた。猿の要

『お互い頑張ろうな』
　僕と犬が歩いていると猿が現れた。猿の要求に応えると猿は僕たちの仲間になった。僕らが進んでいると、物陰に黒い影…だれだ！
「お前、メロスじゃないか。久しいな…。」
「桃太郎、悪い。急いで戻らないと…。」
「そうか…。この団子持って行けよ。メロス、頑張れよ。応援してるぜ。」

現在、最終審査を図書館前で実施中！

気に入った作品の横にシールを貼るだけで、参加ＯＫ！
図書館前で、図書委員がシールを持って、待っています。

皆で集った作品を読み、気に入った作品に投票しよう